

貸借対照表

2020年 3月 31日

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I. 流動資産	65,418	I. 流動負債	46,033
現金及び預金	41,991	買掛金	4,613
売掛金	263	未払金	32,659
たな卸資産	1,801	未払費用	1,116
未収入金	177	未払法人税等	165
預け金	9,004	未払消費税等	590
繰延税金資産	12,176	前受収益	240
その他	3	賞与引当金	6,642
II. 固定資産	85,529	その他	6
1. 有形固定資産	77,290	II. 固定負債	38,120
建物及び構築物	45,630	長期借入金	38,000
工具、器具及び備品	31,660	その他	120
2. 投資その他の資産	8,239	負債合計	84,153
敷金保証金	8,239	純 資 産 の 部	
		I. 株主資本	66,794
		1. 資本金	45,000
		2. 資本剰余金	45,000
		3. 利益剰余金	△ 23,205
		(1)その他利益剰余金	△ 23,205
		繰越利益剰余金	△ 23,205
		純資産合計	66,794
資産合計	150,947	負債及び純資産合計	150,947

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

重要な会計方針に係る事項に関する注記

- (1) 重要な資産の評価基準及び評価方法
たな卸資産
・ 原材料
最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しておりますが、一部の原材料につきましては、個別原価法による原価法を採用しております。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
・ 有形固定資産
定率法を採用しております。但し、建物及び構築物については、定額法を採用しております。
なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。
建物及び構築物・・・・・・・・・・3～20年
工具、器具及び備品・・・・・・・・・・3～15年
- (3) 重要な引当金の計上基準
・ 賞与引当金
従業員の賞与に備えるため、賞与支給見込額のうち当事業年度負担分を計上しております。
- (4) 外貨建資産負債の換算基準
外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。
- (5) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項
消費税等の会計処理方法 税抜方式を採用しております。